

福岡市立勝馬小学校

TEL. 603-6615

FAX.603-6920

メールアドレス [elkatuma@school.fukur.ed.jp](mailto:elkatuma@school.fukur.ed.jp)

ホームページ <http://www.fukur.ed.jp/schoohp/elkatuma/>

# 学校だより

平成 23 年 3 月 4 日

3 月 増刊号

文責：校長 大森 理恵子

「総合的な学習の時間」のねらいは、「子ども達の主体的な学びや思考を生かして、自ら課題を発見し解決し豊かな生活をめざす」ことにあります。6年の子どもの調べの一部ですが、是非地域のみなさんにみていただきたくて、増刊号としました。

2月6日学習発表会

## 勝馬のよさ、伝えたいこと 6年生の発表から抜粋



私が、盆踊りについて調べて分かったことは、昔から盆踊りの歌を歌っていた事です。昔歌っていた歌なので、最初は歌詞の意味もほとんど分かりませんでした。だから、分からなかった所を地域の方にインタビューをしました。地域の方は、盆踊りについて聞くと、「この歌詞はこう言う意味よお。」と教えてくれて、地域の方は、何でも詳しいなあと思いました。盆踊りについては、男の方が詳しい事が分かりました。その中で崎田さんが詳しく、歌詞の意味について14番まで全部教えてくださいました。私も、崎田さんみたいに沢山のの人に教えてあげられる様になりたいです。(6年)



ぼくは、「勝馬に自生している秋・冬の植物」について調べて大きく学んだことは、2つあります。学んだことの1つ目は、地域の方々の優しさです。1学期、2学期と同じ課題を調べて、地域の方々の優しさがどんどん分かり、地域の方々がいないと、今回のように沢山の事を知ることができなかつたと思いました。

学んだことの2つ目は、勝馬には1年中いろいろな種類の花が沢山咲いていることです。「知っとう!?勝馬1」の学習で20種類、「知っとう!?勝馬2」の学習で17種類、合計37種類の植物を調べることができました。春・夏だけではなく、秋・冬も勝馬に自生している植物の新たな発見がありました。1年間同じ課題を調べて、勝馬に暮らしている方々と勝馬に自生している植物は昔から深い関わりがあることが分かりました。

これからも勝馬に暮らしている方々と、勝馬に自生している植物の深い関係は途切れることなくいつまでも続いてほしいと思います。そのために、これからは今まで以上に、植物を大切に、今回調べたことを下級生にも伝えていきたいです。

(6年)

この学習では、実際の生活や環境を学習の対象とし、体験的に地域に学びます。



私が、この課題について調べて分かった事は、勝馬には、ほめ祭を知っている人が、たくさんいるということです。しかし、たくさんの方が知っている山ほめ祭ですが、この頃は、地域の方が参加されたり、お祭りの内容まで知っていたりする人があまりいなくなっています。私は、勝馬の伝統が、少しずつうすれてきていることが、残念に思いました。だから、これか

らは、勝馬の伝統がうすれないように、下級生や地域の人たちに、学習発表会やインターネットを通してしっかり伝えて、山ほめ祭がこれから先も、勝馬の人だけでなく沢山のの人に知ってもらって、ずっと続いてほしいと思います。そして、山ほめ祭がまた勝馬のみんなの伝統になってほしいです。(6年)



ぼくは、この勉強で他の地域にはない、勝馬と大岳の良さを見つけることができました。購売店の前でインタビューをしていたら「寒かろ〜、中に入り。」と優しく接してくれました。大岳では、ホリグチに何回も何回も行ったけれど「今度は何が知りたいと、何でも教えちゃ〜よ。」とってくださいました。とてもうれしかったです。また、インタビューが終わった後に、

「がんばり〜ね。」と言って下さった方もいました。その時、この『知っとう!?勝馬2』の勉強をする意味を感じることができました。だからぼくも、この『知っとう!?勝馬2』の発表で、勝馬の人や大岳の人とのふれあいを通じて感じた人々の優しさを、下級生に伝えて、この勝馬の良さをこれからもっと広めていきたいです。(6年)

ぼくが、この学習を通して分かったことは、ぼく達の身の周りには、たくさんの食べられる野草があるということです。しかも、そのほとんどが山の中ではなく、道ばたなどに自生していると聞きました。ぼくは、勝馬の野草と言えば、『よもぎ』ぐらいしか知らなかつたけれど、17種類もあると知ってびっくりしました。そして、ぼくが「いつから食べているんですか?」と聞くと、「10年前から食べている。」とおっしゃっていました。また、日下部よし子さんにインタビューしたとき、『かわらけつめい』のお茶を飲ませてもらい、実際に勝馬の野草を飲むことができ、とてもうれしかったです。さらに、崎田さんから、『げんのしょうこ』を頂きました。勝馬にたくさんの野草があるのは、勝馬に住んでいる人達が自然を大切にしているからだだと思います。ぼくも、この勝馬の自然を大切にしたいです。(6年)

